

2015.05.01
No.439
初夏号

でんき保安

特 集

平成 26 年度 お客さまアンケート調査結果について 2

「実践！おうちで省エネ」ご紹介	“リビングで省エネ”編「夏の室温 28℃」	1
教えて！ホーちゃん～でんきの専門用語集	「責任分界点」	1
やってみました“節電”対策でコスト削減！	電気の使用状態をデマンド監視装置で常時確認！変化に応じた素早い対応で大きな節電効果	5
来てみて良いまち～ふるさと自慢	浦河町	7
なぜ電気事故が起きたのか	デジタルカメラで変圧器碍子を撮影しようとして接触、感電	9
協会インフォメーション	「災害時協力協定」締結のお知らせ／ホームページをリニューアル！	10
「でんき保安」キーワードクイズ	クイズに答えて応募しよう	10
家庭のでんき安全チェックポイント	乾電池→逆装てんでやけど	11



浦河町／まさに桜のトンネル「優駿さくらロード」（西谷）



アイキャッチャー：右の3つの緑円はサービス指針の“誠実・親切・正確”、左の赤円は“安全”を意味しています。

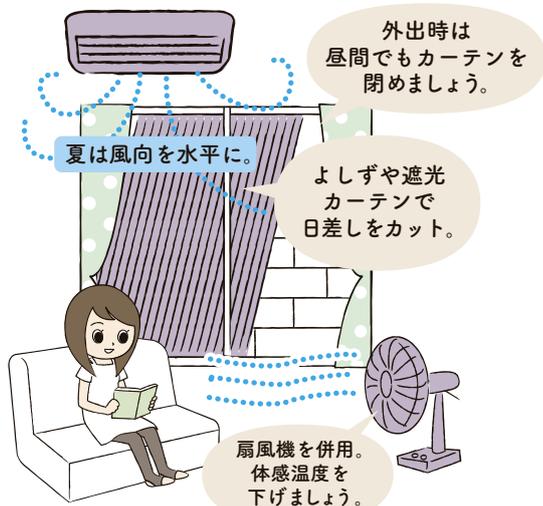


ISO9001 認証

「実践!おうちで省エネ」ご紹介

“リビングで省エネ”編「夏の室温28℃」

ムリのない範囲で省エネに取り組みましょう。



室温をキープしてニヤ〜

エアコン（冷房時）

- 室温を1℃上げて、28℃にした場合。

年間で電気
30.24kWhの省エネ 約**900円**の節約

★外気温31℃の時、冷房の設定温度を27℃から28℃にした場合(運転時間:9時間/日)、エアコン(2.2kW)

- 運転時間の1時間短縮で。

年間で電気
18.78kWhの省エネ 約**560円**の節約

★1日1時間運転を短縮した場合(設定温度:28℃)

- フィルターを月に1~2回清掃で。

年間で電気
31.95kWhの省エネ 約**950円**の節約

★フィルターが目詰まりしているエアコン(2.2kW)とフィルターを掃除した場合の比較

※エネルギー消費量は省エネルギーセンターの実測値を使用。

(参考:「実践!おうちで省エネ」(アプリ)北海道経済産業局 制作)



教えて!ホーちゃん〜

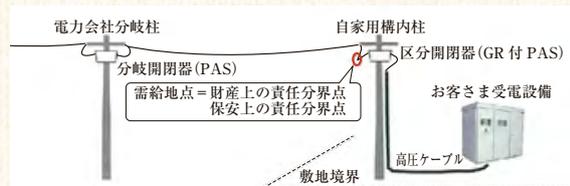
でんきの専門用語集

責任分界点

分界点とは境目のことをさします。

電力会社から高圧で電気の供給を受ける場合、需給地点は、お客さま構内の電柱に設置した区分閉閉器(高圧気中開閉器)の電源側リード線と電力会社の引き込み線の接続部分となり、ここが責任分界点となります。

【架空系から架空線引込の場合】

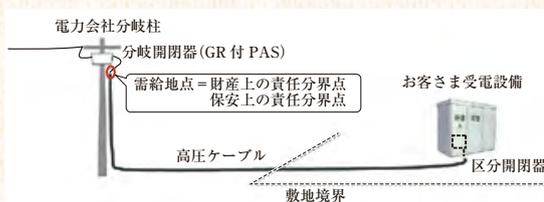


責任分界点は財産上(電力会社とお客さまの資産の境界)と保安上(事故時の責任区分)の2種類ありますが、通常は一致しているため、単に責任分界点と言っても問題はありません。しかし、以前は保安上の責任分界点が“敷地境界”という考え方も混在していたため、現在でも官庁手

続きの際には「財産上の責任分界点」と「保安上の責任分界点」を明記する必要があります。

また、電力会社の分岐開閉器から高圧ケーブルで直接電気室やキュービクルに引き込むケースがありますが、この場合、需給地点は電力会社の分岐開閉器の負荷側と高圧ケーブルの接続部分となり、責任分界点となります。

【架空系からケーブル引込の場合】



その他にも様々なケースがありますので、電力会社が発行している供給承諾書などをご確認ください。

なお、取引用の計量器がお客さまの設備内に設置される場合がありますが、この場合、計量器は電力会社の資産となり計量器に関する保安責任も電力会社が負うこととなります。

特集

平成26年度 お客さまアンケート調査 結果について

電気を安全にお使いいただくためには、一人ひとりが電気の安全な使用方法を正しく認識することが重要になります。

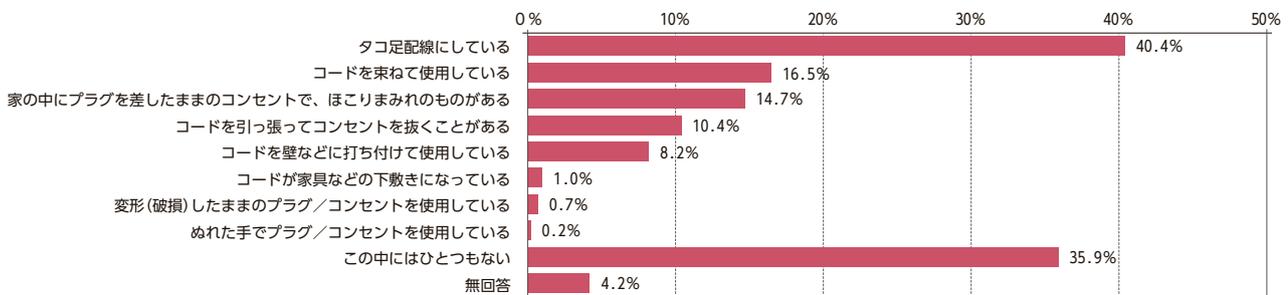
弊協会は、一般の方々を対象に電気の安全使用などに関する広報活動を実施しておりますが、弊協会が行う広報活動の実効性を高めることを目的に、定期的にアンケート調査を実施しております。

今回は、平成26年度に実施したアンケート調査結果のうち、1. 電気の使い方に関する調査結果、2. 弊協会が行う広報活動に関する調査結果及び3. デマンド監視サービスを活用した“節電”対策に関する調査結果についてお知らせいたします。

1. 電気の使い方に関する調査結果

○調査方法	弊協会は、電気事業法に基づく登録調査機関として電力会社から委託を受け、4年に1回ご家庭などの電気設備の安全点検（調査業務）を行い、平成26年11月に安全点検を実施したご家庭の中から1,412件を抽出し、平成26年12月にアンケート調査を実施いたしました。
○アンケート実施年月	平成26年12月
○アンケート発送数	全道で1,412件（抜き取り）
○回答数	599名
○回答率	42.4%

◆みなさまのご家庭での電気の使用法について、あてはまるものをすべてお選びください。



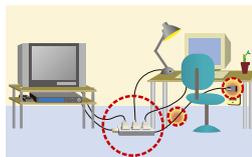
今回のアンケート調査結果は前回（平成24年12月）と傾向が同じでした。「タコ足配線にしている」「コードを束ねて使用している」などの回答が多いことから、「どのようなタコ足配線がキケンなのか」、「どうしてコードを束ねて使用するのがキケンなのか」など、様々な場面で電気をご使用いただくにあたっての注意点を広く周知・啓発してまいります。

電気の安全や省エネルギーなどのご相談は、お気軽に弊協会へお問い合わせください。

◎電気の安全チェックポイント◎

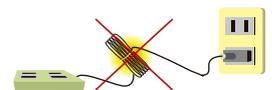
①タコ足配線はしないで

コードやコンセントは、流せる電気の量（定格電流）が決まられていますので、容量以上にお使いになると危険です。コンセントなど熱くなっていたら危険信号です。



②コード類は束ねたりしないで

コードを束ねたり、折り曲げたままで使用しますと、熱くなって火災の原因となることがあります。



③コンセントとプラグの間のほこりは、取り除いて

冷蔵庫・洗濯機等のプラグを、長時間差し込んだまま使用すると、ほこりが溜り、ほこりが湿気を帯びると、火災の原因になります。定期的にプラグのほこりを取りましょう。



④コードをひっぱってプラグを抜かないで

プラグとコード配線の接続か所に直接力が加わり接続不良となることがあり危険です。



2. 弊協会が行う広報活動に関する調査結果

○調査方法	保安管理業務を受託しているお客さまのうち、電力会社との契約種別が高圧電力のうち無人の施設や休止中の施設、官庁施設などを除くお客さまの中から無作為に抽出し、アンケートを実施いたしました。
○アンケート実施年月	平成26年11月
○アンケート発送数	500件
○回答数	209名
○回答率	41.8% (前回：39.6% 2.2ポイントアップ)

◆電気の安全、省エネに関する広報についてお聞かせください。

(1) 弊協会では、電気を安全にムダなく使用していただくため、次の広報活動を行っていますが、この中から大事だと思われるものを選んでください。(複数回答可)

		(前回：平成25年2月)
1.ホームページによる情報発信	34.4%	25.8%
2.新聞などによる広告掲載	34.0%	29.8%
3.広報誌「でんき保安」配布	32.1%	42.9%
4.テレビCM	27.8%	-
5.無料相談窓口 (本部、支部、事業所に電気・省エネ相談窓口開設) 無料講習会	20.1%	21.7%
7.パンフレット類の配布	19.6%	28.8%
8.ラジオCM	12.0%	22.2%
9.街頭キャンペーン (電気使用安全月間となる8月に全道各地で実施)	3.3%	7.6%
10.その他※	3.3%	1.5%

※その他

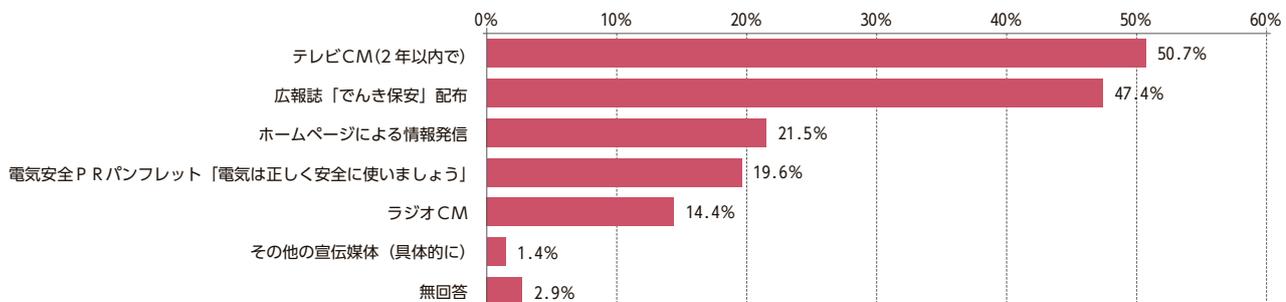
- ・電子メールによる広報を希望する
- ・広報活動の必要性はない
- ・広報活動は電気供給事業者が行うべきである など

前回4位だった「ホームページによる情報発信」が8.6ポイント増で1位になり、ウェブサイトの情報発信が求められているのが分かりました。

弊協会では、平成27年3月にホームページのリニューアルを行い、これまで以上に内容の充実を図りました。今後もみなさまのお役に立てるよう情報発信に取り組んでまいります。

また、電気を安全にムダなくご使用いただくため、お客さまのご意見、ご要望を反映し、様々な広報活動を心がけてまいります。

(2) 弊協会の宣伝媒体で、ご覧(視聴)になったことがあるものをお知らせください。(複数回答可)



テレビCMが1位となっていますが、平成25年度に弊協会の業務を紹介するCMを放映したことが影響しているものと思われます。

電気を安全にムダなく使用するための情報誌「でんき保安」は、保安管理業務のお客さまだけでなく自治体やご希望されたみなさまに幅広く無料で配布しています。

リニューアルしたホームページも、ぜひご活用ください。

(3) お届けしている弊協会の広報誌「でんき保安」で興味があった記事はございましたか？（複数回答可）

〔上位〕

(前回：
平成25年2月)

記事名	今回	前回
1.電気事故事例	43.5%	40.4%
2.やってみました“節電”対策でコスト削減！	41.6%	29.3%
3.「実践！おうちで省エネ」ご紹介	24.4%	-
4.でんきの専門用語集	19.1%	-
5.家庭のでんき安全チェックポイント	13.4%	18.7%

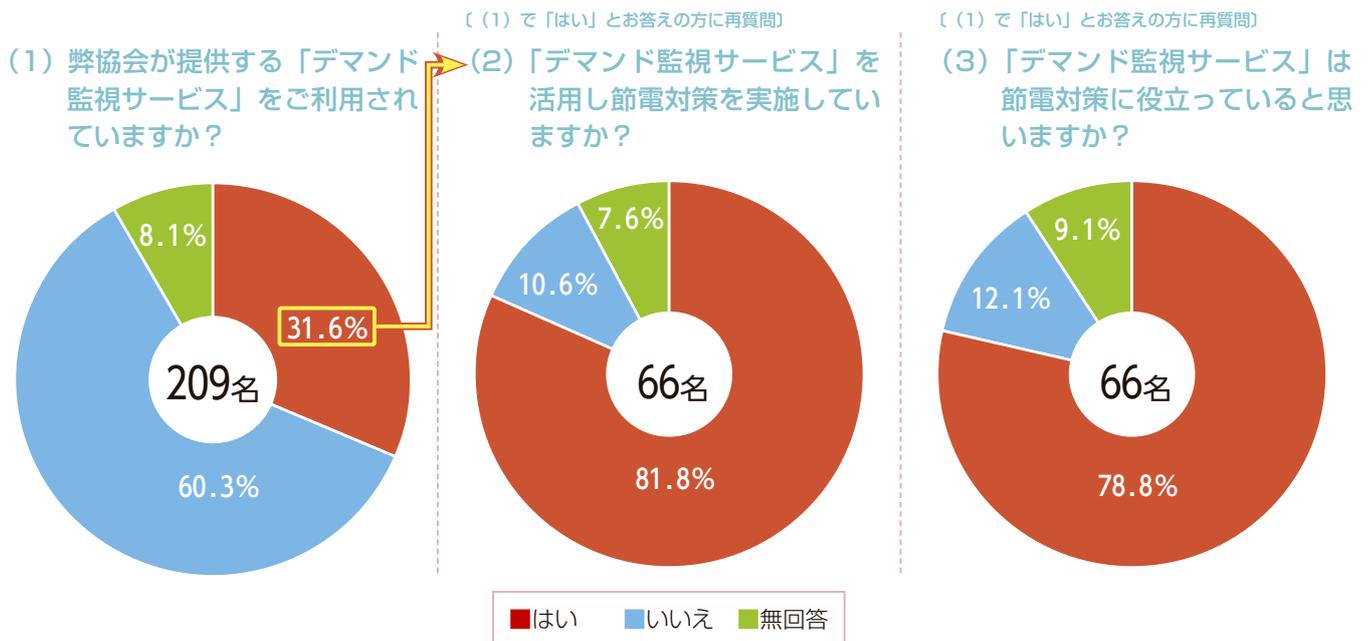
前回同様に「電気事故事例」が1位になりました。また、2位、3位に節電に関するコーナーがランクインし節電への関心の高さがうかがわれます。

これからもみなさまのご期待に添えるよう努めてまいりますので、多くの声をお聞かせくださいますようお願いいたします。

3. デマンド監視サービスを活用した“節電”対策に関する調査結果

○調査方法などについては、「2. 弊協会が行う広報活動に関する調査結果」と同じです。

◆弊協会が提供するデマンド監視サービスは“節電”対策にご活用できます。
デマンド監視サービスについてお聞かせください。



今回で回答いただきました209名のうち31.6%の方に「デマンド監視サービス」を「利用している」とご回答いただきました。前回に比べ1.8ポイント上昇しましたが、弊協会が本サービスを提供しているお客さまの割合を上回る数字となっています。お客さまが弊協会以外からデマンド監視装置を調達し設置している事例や他の装置の設置事例も含まれている可能性があります。

また、「デマンド監視サービス」を利用しているお客さまのうち、81.8%が本サービスを活用し、節電対策を実施しており、78.8%の方が、節電対策に「役立っている」とのご回答をいただきました。

節電対策のご相談は、弊協会へお問い合わせください。

保安全管理業務のお客さまには、このほかにも業務についておうかがいしております。アンケートの全容は、弊協会ホームページに掲載しますので、ご覧ください。

これからも電気を安全にムダなくご使用いただくための広報活動に取り組んでまいります。

やってみました

“節電”対策 で コスト削減!

電気の使用状態をデマンド監視装置で常時確認! 変化に応じた素早い対応で大きな節電効果

苫前町公民館 さま

住所：苫前郡苫前町字古丹別187番地15
TEL：0164-65-4076
URL：<http://www.town.tomamae.lg.jp/>
業種：地方公務

主な電気設備：

電灯変圧器	75kVA
電灯変圧器	200kVA(調光用)
動力変圧器	150kVA



苫前町公民館さま(外観)

苫前町は、

道内屈指の強風地帯で風力発電の先進地として知られ、毎年、北海道風車まつりや凧あげ大会など風のまちならではのイベントを開催しています。苫前町公民館は、古丹別地区に位置し、「つどい、まなび、むすびあう」生涯学習の拠点施設として、住民に広く利用されています。



夕陽ヶ丘ウインドファーム「風来望」



苫前町公民館さまの担当
留明事業所 長谷川 真吾



風のまちならではのイベント「凧あげ大会」

きっかけは

イベント集中で電気の基本料金が大幅に増加

平成23年9月に公民館のイベントが重なり、ほぼ全室の照明を点灯し、陶芸用電気釜(25kW)と冷房設備(合計容量62kW)を同時に使用したため、最大電力が187kWと過去最高となりました。そのため電気料金も大幅に上がり、お客さまから対策について相談があり、デマンド監視による節電対策を提案させていただきました。





やってみて
どうだったの？

「デマンド監視装置」

取付前(平成23年10月)

最大電力 187kW
使用電力量 7,391kWh

「デマンド監視装置」

取付後(平成24年10月)

最大電力 135kW
使用電力量 7,334kWh

27.8%の
削減に成功！

20.7%の
削減に成功！

さらなる節電対策後

(平成26年10月)

最大電力 107kW
使用電力量 6,934kWh

0.8%
の削減

5.5%
の削減

実践しました

デマンド監視装置を設置したことで、夏場の冷房設備の稼働時にピーク電力が発生することが判明しました。

事務所の管理モニターで電気の使用状態が把握できるようになり、デマンド監視装置の警報が発生した時に、手動で冷房設備を止めるようにしたところ、最大電力を52kW下げることができました。

その後、職員の省エネ意識も高まり、管理モニターで予想電力を確認し電気の使用状態が高い時には、警報が鳴る前に館内を点検し、こまめにスイッチを切るなどの対策を実践しました。また、イベントなどの施設の利用計画に応じ電気の使用状態を考慮することで、デマンド監視装置の設置前と比べると80kWも最大電力を下げることができ、現在でも節電電力が更新されています。



苫前町教育委員会

社会教育課社会教育係長 鴨田 誠さま

電気保安協会からデマンド監視装置の導入をご提案いただき実施した結果、ピークカットによるデマンド(最大電力)の節減効果は絶大で、対策前から比べて年間100万円以上の経費節減を図ることができました。

今後も、より一層のコスト低減と最大電力の抑制ができるよう、デマンド管理を実施していきます。



屋外キュービクル



手動で制御している冷房設備



デマンド監視装置の電力管理モニターを事務所に設置

長谷川保安職員

デマンド監視装置の設置により、電気の見える化が進み、デマンド上昇の要因となっていた負荷を把握することで、事前に負荷を止めて調整したり、工程を見直したりすることで大幅なデマンド削減に繋がったものと思われます。今後も電気料金の削減について全力でサポートさせていただきます。

デマンド監視装置は、電気の見える化と合わせ電気料金の削減に有効です。電気料金の削減をご検討のお客さまは、弊協会の担当者にご相談ください。

弊協会は、お客さまとともに省エネルギーに取り組みます。

来て 良いちち〜
みて みるさと自慢

馬と海の幸だけじゃない 夏いちご生産日本一のまち



浦河産の夏いちご(すずあかね)

No.13

浦河町



〒057-8511 浦河郡浦河町築地1丁目3番1号
TEL:0146-22-2311 FAX:0146-22-1240
<http://www.town.urakawa.hokkaido.jp/>



浦河町は、北海道日高管内の南部に位置し、北は日高山脈、南は太平洋に接している町です。太平洋と日高山脈に挟まれた地形は「日高路」と呼ばれ、北海道の中でも特徴的な風景を見せられます。

海洋性気候の影響で夏は涼しく、冬は温暖なため、北海道のなかでも四季を通して住みやすい地域となっています。このため、平成18年度から取り組んでいる移住促進事業の「ちょっと暮らし(体験移住)」では、道内でも人気の町となっていて、毎年、本州からの体験移住者が多く訪れます。

「うらかわ」という地名は、江戸時代に松前藩が幕府に献上した『元禄御国絵図』にも既に「浦川」として記されていて、明治時代に入ると、開拓使の移民政策により内地人の移住が盛んとなり、明治4年に、西舎、杵臼に九州の天草郡や大村郡からの移民者が入植したのをはじめ、多くの集団移民が行われました。

大正4年には、浦河町、西舎村、杵臼村の3町村を合併して浦河町となり、平成27年度は、この年から数えて100年となることから、「町制施行100周年」と位置付け、様々な記念事業を予定しています。



町の見どころ

夏いちご生産量が日本一

いちごは、本来、涼しい時期に栽培されていて、本州の暑い夏場には生産が難しい作物とされていました。夏涼しく、冬温暖で雪が少ない浦河町では、この気候を活かしたいちごの施設園芸に取り組み、本州生産のいちごが不足する夏場に生産・出荷できる品種の研究なども行っていました。

夏場の加工用いちごは、輸入に頼っていましたが、新鮮な国内産夏いちごに対する需要も高まり、町内で作付けを始めた「すずあかね」という品種は、ケーキなどの加工用として最適で、浦河産の夏いちごとして高い評価を得るようになりました。

浦河産夏いちごは、価格の上昇・安定、そして生産量の増加もあり、平成26年度の町内農家の販売は、2億円を越え、「夏いちご生産量日本一のまち」となりました。



▲ 厳しい選果を行い、品質の良い夏いちごを出荷



高設栽培によって▶生産される浦河産夏いちご

馬と自然にふれあえる うらかわ優駿ビレッジAERU

浦河町の交流人口増加を目的に「平成10年」にオープンしたうらかわ優駿ビレッジAERUは、約107haの広大な敷地に、乗馬や自然に親しむための施設のほか、宿泊棟や展望大浴場を備えた観光拠点施設。

町民の憩いの場として、また、町外の方が自然のなかでゆっくり時間を過ごすなど、様々な体験ができる施設として活用されていて、特にサラブレッド生産が基幹産業である浦河の顔として、乗馬には力を入れており、初級者から上級者まで楽しめる豊富なメニューが用意されています。

また、芝生サッカーコートが3面確保できる多目的広場は、サッカーの合宿や各種大会など、大人から子どもまで利用できます。



▲うらかわ優駿ビレッジ AERU



▲乗馬は豊富なメニューが自慢



▲芝生の上で華麗なプレー

地域の特徴満載・浦河のイベント

○うらかわ桜まつり(5月中旬)

「優駿さくらロード」が見頃を迎える5月中旬に開催。3kmにおよぶ桜のトンネルは、まさに絶景。(優駿ビレッジAERU特設会場で開催)

○うらかわ馬フェスタ(7月下旬)

「馬のまち浦河」がとことん馬にこだわったイベント。五冠馬シンザンにちなんだ「シンザンフェスティバル」と本格的な草競馬が魅力の「浦河競馬祭」が合わせて開催されます。(西舎のJRA日高育成牧場特設会場で開催)

○浦河港まつり(8月中旬)

お盆シーズンに合わせて行う、港町ならではのアクションを楽しんでいただけるお祭りです。最終日には、花火大会が行われ水面に映る花火は、見ごたえ十分です。(浦河港特設会場で開催)



お盆の風物詩・花火大会▶



日本ダービー優勝馬生産日本一のまち！ 夕食にとれたてのイカ刺が食べられるまち！

○全国の競走馬の約80%を生産している日高地方で、約100年の名馬生産の歴史を持つ「優駿のふるさと」浦河町。長い伝統を裏付けるのが「日本ダービーの優勝馬を日本一生産しているまち」という事実があります。(19勝/81戦)

○浦河港に水揚げされるスルメイカは、日中、魚群探知機を使って漁をして、夕方に市場に並びます。そのため、夏から秋にかけて、町内の居酒屋や家庭の食卓には、とれたての新鮮なイカ刺が並び、浦河町の名物となっています。



▲馬フェスタでは、会場内を馬が行進



▲町内には約200の軽種馬生産牧場が



▲夕方の浦河港に水揚げされるスルメイカ

■ご紹介/浦河町役場(企画課)

掲載の写真と表紙写真は浦河町役場さまからのご提供です。浦河町は、弊協会の浦河事業所が担当しております。

デジタルカメラで変圧器碍子を撮影しようとして接触、感電

<p>事故の状況</p>	<p>(1)他の事業所で変圧器の碍子の不具合があったので、設置者は全事業所に対して、変圧器の碍子を点検するように指示を出した。 (2)当該事業所の電気主任技術者は、常時は50km程度離れた別の事業所に勤務しておりすぐに点検できなかった。たまたま、当該事業所に別の要件で行くという職員(被災者)がいたので、調査を依頼した。 (3)電気主任技術者は、被災者に調査の趣旨を簡単に説明し、『デジタルカメラ』『キュービクルの鍵』『図面』を渡して変圧器の碍子の撮影を依頼した。 (4)被災者は当該事業所に到着後、一人でキュービクルの鍵を開けてデジタルカメラを内部に入れて撮影しようとした。この時、左手が高圧ケーブル接続端子に接触して感電した。感電経路は、高圧ケーブル接続端子→左の薬指(指輪)→左前腕→キュービクル外箱→地面である。</p>
<p>保守点検状況等</p>	<p>(1)電気主任技術者は、電氣的知識がない被災者に危険性の説明や保護具の着用もなく、受電中のキュービクル内の変圧器の撮影を行わせた。 (2)被災者自身は高電圧の危険性を認識していなかったため、キュービクル内部に入ってしまった。 (3)入院2週間程度の電撃症</p>
<p>原因</p>	<p>(1)感電(被害者の過失:作業準備不良) ※電気事故報告書を作成する際に用いられる原因分類表による「感電(作業)」⇒ 服装の不良、技術の未熟、心身状態の欠陥等によるもの。</p>
<p>事故の防止対策</p>	<p>(1)電気主任技術者はキュービクルの鍵を管理・保管し、キュービクルを開ける時は必ず立ち会う。 (2)キュービクル内部の調査・点検時には、電気主任技術者が必ず立ち会う。また、停電が必要な作業の場合は必ず停電する。 (3)教育を施した電気関係者以外には点検をさせない。 (4)業務要領の徹底をはかり、安全管理に努める。</p>



キュービクル



接触した変圧器

「設備診断技術研究会」ってなあーに？

設備診断技術研究会は、昭和58年に社団法人日本電気技術者協会北海道支部の調査、研究部門組織として設立され、北海道における電気技術者の保安技術の向上を図ることを目的に電気事故の原因調査および防止に係る調査研究などを行っている組織です。研究会の報告書を参考に、事故防止に努めましょう!



■ひとこと■

今回の事例は、電気主任技術者が安易に電氣的知識のない者に変圧器の碍子の写真撮影を依頼してしまったことが、感電事故に至った最大の原因と思われます。

単なる写真撮影は活線近接作業ではないと思込んだのかも知れませんが、キュービクルの扉を開けること自体、感電の危険が伴う作業です。電気主任技術者はこのことを認識し、自ら立ち会い、電氣的安全に関する教育を受けた者に作業を行わせることを大原則とすべきです。

弊協会は、みなさまとともに“電気使用の安全確保”に取り組みます。

<このコーナーは、設備診断技術研究会資料を弊協会が分かりやすく解説したものです>

「災害時協力協定」締結のお知らせ

弊協会は新たに次の自治体と「災害時協力協定」を締結いたしましたのでお知らせします。

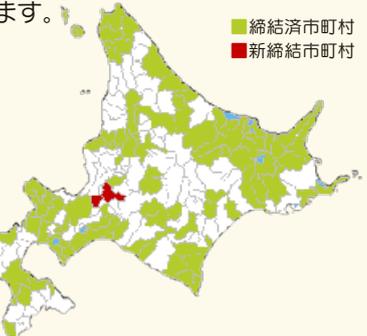


江別市 平成27年2月19日



岩見沢市 平成27年2月26日

ご相談は、最寄りの支部・事業所へ。



■締結済市町村
■新締結市町村

弊協会ホームページをリニューアル！

いつも弊協会のホームページをご利用いただき、ありがとうございます。
 このたび弊協会のホームページを4年ぶりにリニューアルしました。これまでよりも情報を豊富にそろえ、電気に関連する豆知識のほか、調査業務、保安業務紹介やよくある質問、リクルート情報などを充実させましたので、ぜひご活用ください。

プロスが魅力
 弊協会は、電気設備の保守管理業務を専門に行う電気保安法人として、電気事業法第48条に規定する業務を担っており、お客様に安全・安心をお届けしております。これまで培ってきた経験や知識を生かし、様々なプロスをお届けしております。

24時間365日対応
 突如の電気の事故・トラブルに24時間365日体制で対応します。お客様から連絡を受けた場合は、直ちに出勤、状況を把握し適切な処置を行うことを最優先とさせていただきます。

リクルート情報

私たちの仕事
 中小企業など電気設備の保守管理に関する幅広い仕事に携わり、電気設備の安全・安心を確保するための業務を担っております。お客様の安全・安心を確保するための業務を担っております。

電気保安協会の年収
21000+



電気保安協会って
 どんなことをしているの？

でんき保安 キーワード クイズ

問題 平成26年度に弊協会ではアンケート調査を行いご家庭での電気の使用法をお聞きしました。もっとも多かった回答は「○○○配線」でした。○に当てはまる語句をお答えください。

(ヒント:特集:2ページ)

◎ 3文字 →

本誌の掲載記事の中に該当するキーワードがあります。3文字でお答えください。今年度は抽選で10名の方に図書カード(1,000円分)を進呈します。(正解は、「初秋号」で発表)

※当選発表は、景品の発送をもって代えさせていただきます。〔応募締め切り:平成27年8月20日受付分〕



クイズに答えて
 応募しよう！

【ご応募方法】 URL <http://www.hochan.jp>

弊協会のホームページに掲載の「でんき保安」発行のお知らせにある「クイズ応募フォーム」から以下の必要項目を入力しご応募ください。



- ① お名前、景品の送り先ご住所
- ② クイズの答え
- ③ 「でんき保安」誌をご覧になったの感想

※なお、お送りいただいた個人情報は、景品発送またはお問い合わせの回答のみに使用します。



新春号クイズの答え

新春号のクイズの答えは、「接触確認」でした。ご応募いただき、ありがとうございました。

でんき器具事故から学ぶ

家庭のでんき安全チェックポイント



電気の3大事故と呼ばれているのは、「漏電」、「感電」、「火災」です。
このコーナーでは、身近にある電気器具の事故事例をご紹介しますので、
事故の未然防止にお役立てください。

乾電池 逆装てんでやけど

携帯扇風機に単3形アルカリ乾電池4本を入れて使用していたら、
1本の乾電池が液漏れし、漏れた液で太ももに化学やけどを負った。

なぜ？

単3形アルカリ乾電池4本のうち1本が逆装てんされたために過充電となり発熱し、乾電池内部で発生したガスにより安全弁が作動して電解液が漏れたものです。



チェック!

電池を交換するときは電池の+ -を確認して正しく装てんしてください。電解液には強アルカリ液が使用されているので、直接触れないように注意してください。化学やけどをおこす可能性があります。

アルカリ乾電池は新しいものと古いものを混ぜて使用しないでください。古い乾電池が過放電状態となって内部のガス発生に伴い内圧が上昇し、安全弁が作動して液漏れが起こります。

nite National Institute of Technology and Evaluation
独立行政法人 製品評価技術基盤機構

(資料提供:NITE 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 <http://www.nite.go.jp/>)

ホームページをリニューアル!

電気を安全にご使用いただくための
さまざまな情報をお知らせしています。ご利用ください!



弊協会は、ホームページからもみなさまのご意見ご要望をおうかがいしています。お問い合わせフォームをご利用ください。

発行/一般財団法人北海道電気保安協会
〒063-0826 札幌市西区発寒6条12丁目6番11号
TEL (代)011)555-5001 FAX(011)555-5002

URL <http://www.hochan.jp>



制作・印刷/山藤三陽印刷株式会社
札幌市西区宮の沢1条4丁目
TEL (011) 661-1716